

第 10 回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第 10 回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	平成 24 年 6 月 19 日 (火) 14 時 00 分から 15 時 30 分まで	
開催場所	香取市役所 (本庁) 5 階大会議室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 八木 貴弘	
出席者氏名	別紙 1 のとおり	
欠席者氏名	別紙 1 のとおり	
事務局氏名	別紙 2 のとおり	
会議事項	1 議題	2 会議結果
	(1) 平成 23 年度香取市地域公共交通協議会決算について	全議案原案のとおり可決
	(2) 香取市地域公共交通総合連携計画に基づく主な事業の実施状況及び今後の取組みについて	
	(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画 (生活交通ネットワーク計画) の策定について	
(4) 市内公共交通のあり方に関する検討について		
会議の経過	別添 (会議経過) のとおり	
会議資料	① 第 10 回協議会資料 ② 参考「バスで歴史あふれた小見川の文化遺産をめぐってみませんか」 ③ 交通不便地域指定申請書 ④ 地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書 ⑤ 計画事業に係る事後評価	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署名	
平成 24 年 7 月 19 日	議長 八木 貴弘	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局 八木会長	<p>1 開会</p> <p>【配布資料の確認】</p> <p>2 あいさつ</p> <p>皆さま、こんにちは。</p> <p>香取市副市長の八木でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>本日は、大変お忙しいところ、この協議会にご出席をたまわりまして誠にありがとうございます。また、今、お手元に委嘱状を配布させていただいておりますけれども、皆さま方、こちらよくお引き受けいただきまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、この協議会、今回で第10回ということでございますけれども、平成20年度に設置されております。検討がスタートしまして、平成21年度に香取市地域公共交通総合連携計画を策定いたしましたして、計画に基づきまして3カ年にわたり様々な事業を行ってきたところでございます。そして前回の協議会でもございましたけれども、本年3月を持ちまして、様々な実証・実験運行は終了し、今年の4月からはこれをさらに継続して運行していこう、ということになったわけでありまして、この協議会もその意味ではひとつの新たな節目、となるのかなと考えております。</p> <p>今日は第10回ということですが、本年度としましては最初の協議会ということで、昨年度の決算報告が予定されております。また、この後の議事でございますけれども、連携計画に基づいて実施しました事業の進捗状況と今後どうしていくかという今後の取り組みについて報告させていただき、その後、議事の(3)ということで、今年度からの活用を検討して参りました、確保維持改善事業に係る新たな計画の策定を協議させていただき予定となっております。そして、最後に議事の(4)といたしまして、今後どうしていくかというところで、この香取市の公共交通体系全般について、さらに広範な検討していく必要があるであろうと、そのことについて説明をさせていただきます。</p> <p>本日の協議会では、今後の協議会の取組みなど、様々な点につきまして、皆様の忌憚りの無いご意見やご提案を頂戴したいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで、人事異動等に伴いまして、新たに委員になられました方々のご紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>【新委員の紹介】</p> <p>よろしく申し上げます。</p>

議 長	<p>それでは、さっそく議事に入らせていただきます。本協議会規約第7条第1項の規定により、会議の議長は会長となりますので、八木会長、お願いいたします。</p> <p>それでは、ただいま事務局から説明がありましたとおり、協議会の規約によりまして、議長を務めさせていただきますので、円滑な議事の進行につきましてご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
議 長	<p>3 議事 (1)平成 23 年度香取市地域公共交通協議会決算について</p> <p>それでは、早速議事に入ります。議事の(1)香取市地域公共交通協議会決算について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>【(1)平成 23 年度香取市地域公共交通協議会決算について説明】</p>
議 長	<p>ありがとうございました。それでは続けて、平成 23 年度決算についての監査報告について、本協議会の監査委員であります古橋委員よりお願いします。</p>
古 橋 委 員	<p>監査委員滝浪の古橋でございます。去る6月6日、香取市地域公共交通協議会に係る、予算執行の適否について会計帳簿並びに関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されていると認めましたのでご報告申し上げます。以上でございます。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。ただいま、事務局からの決算書の説明と監査委員からの会計監査報告がございました。このことにつきまして、ご質問やご意見等がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>はい、よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。では、決算については承認されたということにさせていただきます</p>
事 務 局	<p>(2)香取市地域公共交通総合連携計画に基づく主な事業の実施状況及び今後の取組みについて</p> <p>それでは、議事の(2)計画に基づく主な事業の実施状況及び今後の取組みについて、そのうち、①の路線評価のところまで、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【①路線評価について説明】</p>
議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から取組み状況につきまして、①の路線評価までのご説明、7 ページのところまでですね、がございました。4 ページの表はいつも A 3 で出しているものが今回字が小さいのでわかりにくいですが、詳細はそれぞれその後</p>

<p>事務局</p>	<p>5 ページ以降のところでのご紹介とのことでございます。それでは、以上の説明につきまして、ご質問やご意見等がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>すみません。私の方から 1 点。佐原地区の循環バスの北佐原・新島ルートで、23 年度は 1 年前に比べて 871 人減っているということですが、これは先ほどご説明いただいたと思いますけれども、震災の影響ということですがもう少し具体的に教えていただけますでしょうか。</p> <p>震災以後、道路ですとか、下水の関係でマンホールが上がってしまったりですとか、そういった関係で通れない場所がございます。その他、農業用水幹線につきましても工事がございまして、かなり長期に渡って迂回運行をしていたとの経緯がございます。農業用水関係の工事につきましては、工事が終了しまして元のルートに戻っている状況なのですが、農業集落排水等の工事についてはまだこれから本格的な工事があるところでして、部分的には戻したところもあるのですが、これから本格的な復旧工事が始まりますと、再び迂回運行せざるを得ないところもありまして、当分はなかなか難しい状況が続くのも覚悟しないといけないのかなと考えているところがございます。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうすると、それは復旧工事が進んでくるとまたバスを使う方が出てくるだろうと見ているということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>やはり、臨時バス停を設けまして、集落からかなり遠いところを通っている場所がございまして、実際問題として運行はなんとか継続しているものの、従来から考えますとかなり遠いところを通っている場所がございまして、戻ればある程度利用者が戻るのではないかと期待しているところなんですけれども、現状としてはそういう状況になっております。</p>
<p>議長</p>	<p>わかりました。</p> <p>では他に、皆さまいかがでしょうか。</p>
<p>梅田委員 (鶴澤委員代理)</p>	<p>千葉交通の梅田と申します。今の件でなのですが、当初、震災の後に、北佐原についてはほとんど行けないという経過がございました。それについて、香取市の企画の方と相談しまして、通れる工事が終了した時点で戻しております。ある程度、道は改善されて、相当元のルートに戻っては来てはいるのですが、当初ここ、23 年度ですけれども、大半の地域が行けてないという状況がありました。今は、ある程度は戻ってきていると思いますが、今、石毛さんからもありましたけれども、今後ルートが戻れば人員は戻るのではないかと思います。後は周知も大分されていますので、大戸・瑞穂ルートが増えているのと同じように、利用者の方も戻ってくるのではないかなと思っています。戻れる範囲の中で、今後もよく打ち合わせをしまして、早め早めに元のルートに戻していきたいと考えております。以上です。</p>

議 長	ありがとうございました。それでは他にいかがでしょうか。
古 橋 委 員	申し訳ありません、初歩的な質問で。平均乗車密度というのは、どういう形でこの数字が出るのでしょうか。というのが 0.8 というのが極端に低いのか、1.1 あれば普通なのかというのが、全然判断できないんですけども、教えていただけますか。
事 務 局	簡単に申しますと、バスに常に 1 人は乗っているという状態が 1 でして、1 を切っているということは、誰も乗っていない区間があるということを示しております。
古 橋 委 員	ありがとうございました。何人乗りのバスなのですか。
議 長	成田空港線ですか。
古 橋 委 員	成田空港線です。
梅 田 委 員 (鶴澤委員代理)	成田空港線ですと、立ち席も入れて五十何人か。座席的には 20。平均乗車密度というのは、常に始発から終点まで乗っている方というのはなかなかいないんですけども、乗ったり降りたり繰り返すわけですし。その中で、必ず 1 人乗っている状態が 1.0 ということになります。空港行きで言いますと、朝なんかは空港に行く方が多いんですけども、空港から反対に行く方はなかなか朝はいない場合には、通常の路線バスでも 0 に近いことがありますので、それを割って算出します。
議 長	ありがとうございました。よろしいでしょうか、大体の部分について。
古 橋 委 員	ただ、これで普通という感覚かどうかがわからない。
議 長	目安としては、平均乗車密度、どのように捉えたらよいのでしょうか。事務局からお願いします。
事 務 局	公共交通連携計画では、一応指標としては 1 を基準としておりまして、それを切った場合には何らかの手当てが必要かなという路線ということで対応が必要と考えております。 ただ 1 は最低の指標として設定しているものですので、それが十分というわけではございません。
議 長	補足しますと、平均乗車密度で大体、収支とか色々なものの目安になってくるわけですが、本当ならば民間で収支が見合うという観点からするともっと相当乗らないといけないんですけども、實際上、このジェイフィルムと成田空港の間の成田空港線ですと、平均乗車密度 0.8 人ですが、収支率ですと 30% ちょっとということで、大きな赤字ということになっています。これは、本当はもっと大きな数字でないといけな

<p>事務局</p>	<p>いんですが、市の計画としましては、交通の便が悪いところを何とか走らせている現状なのでバスは少なくとも1はないと困るよね、というところで、設定しているものをさらに下回ってしまっているという現状なんです。そこでこれを何とかしないといけないというのが今大きな課題となっている、そのような現状なのではないかと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして8ページ以降ですね。②の乗降調査とインタビュー調査、それから③そして④の小見川北地区渡船代替交通手段の検討まで事務局から説明をお願いします。</p> <p>【②乗降調査及びインタビュー調査③小見川循環バスの普及啓発④小見川北地区渡船代替交通手段の検討について説明】</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今、事務局から、ご説明申し上げましたけども、ご意見、ご質問等がございましたら頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>では、私の方からすみません。乗降調査とインタビュー調査をしましたよ、というご報告だったのですが、した結果こうだったよというのは取りまとめ中なので、次回の協議会の時にご説明いただけるということによろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の開催時期にもよりますが、できるだけ早めに何らかの形でご報告したいと考えております。</p> <p>それではよろしく願いいたします。</p> <p>他に皆さまお気づきの点、いかがでしょうか。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>はい。資料の10ページでございますが、小見川循環バスの市民による、地元自治会の企画でのツアーでございますけども、他の協議会等で見渡しても、このように地元の方々が循環バスを利用して、こういう企画をするというのはなかなかなくて、非常に良い取り組みなのかなと思っております。良い取り組みなので市としても相当バックアップをしてあげて、盛り上げていただければなと思います。それでどういうことかという、アンケートをしております。この時37人ですが、37人のアンケートだとちょっと母数としては心許ないところがございますので、今後引き続き、モニターツアー等が積極的に行われるように市としてバックアップしていただくとともに、アンケートの集計も自治会の方がやると単純集計というか、普通の集計になると思いますので、クロス集計ですとか、縦横さしてですね、どういうことを住民が望んでいるのか、というものを引き継いで、積極的に支援をしていただけたらなと思います。それからアンケート用紙も若干見させていただきましたが、もうちょっと高齢の方が多いのかと思いますけども、もうちょっと突っ込んだ書き</p>

	<p>ぶりをしてですね、この地域で本当に望まれているもの、というのが見いだせるような項目も入れていただけるように、市でバックアップしていただきたいなと思っております。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、今いただいたご提案について事務局いかがでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>地元の自治会としましては、アンケートについては 100 枚を目標にしているとお話がありまして、市の方としても、できる限りの支援をして参りたいと考えております。市の方からも突っ込んだ形で支援していければと考えております。</p>
<p>議 長</p>	<p>是非、お願いいたします。 他に皆さま方、お気づきの点、いかがでしょうか。</p>
<p>関 係 職 員</p>	<p>すみません。前回、欠席してしまいましたので。④の一番最後の 10 ページに書いてある渡船について、地域と行政の共同負担の交通手段を模索とありますが、どのような交通機関を検討されたのでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>それでは渡船の代替ということで、公共交通の立場としてということなので、まず、検討の内容としましては、デマンドの車の交通、それと循環バスを北地区の方へ川の北側へ向けられないかというような循環バスの交通を基本的にまず考えたのですが、橋の渋滞の関係でそういった交通が不可能ということで、そちらは頓挫しております。それで替わりということで乗用車を、学童保育という形のものがありますけども、そういった形式で、地元の方へ車両をお貸しして、地元の組合の方で運行していただけないかというような形で今提案を申し上げて、検討しているところでございます。</p>
<p>関 係 職 員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>議 長</p>	<p>それでは他にいかがでしょうか。 では富田の渡船の代替交通手段の検討についても、具体的な話し合いを進めていただきたいと思います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画(生活交通ネットワーク計画)の策定について</p> <p>では、続きまして、議事の(3)、資料の 11 ページ以降ですけども、地域内フィーダー系統確保維持計画(生活交通ネットワーク計画)の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>議 長</p>	<p>【地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について説明】</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。 中身、多岐にわたっていましたが、要するにこの 3 月まで実証運行をやってきた小見川循環バスを、4 月以降も継</p>

<p>事務局</p>	<p>続しますと。それで継続するにあたって国土交通省の補助金をもらおうと。そのためにはこの協議会の名前で国に定められた様式を整えて計画の認定申請をしますと。そういう中身でよろしいですね。</p> <p>それでは、只今ご説明いただきました計画について、ご質問等ございましたら頂戴したいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>それではすみません、私の方から。この計画は、3月からやってきた、そして今も今日も動いている小見川の循環バスの運行内容そのものは変わらない、というものでよろしいでしょうか。</p> <p>3月まで運行してきた小見川循環バスについて、引き続きそのままの形の運行ということで計画を提出するものでございます。</p>
<p>議長</p>	<p>はい、わかりました。そうすると、運行内容そのものは同じで、それを継続する財源という観点からきちんと計画を作って国に申請しようと、そういう趣旨でよろしいですね。わかりました。ありがとうございました。</p> <p>ではこの点につきまして、ご質問などいかがでしょうか。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>1点なのですが、生活交通ネットワーク計画の記載事項の2の(1)事業の目標ということで、目標値14,400人となっておりますが、資料の11ページにございますが事業実施状況評価の対象になります。来年25年の4月に国に報告するわけですが、この際に問われることが2つございます。</p> <p>まず目標値、1割増しと書いてございます。1割増しというのは妥当でしたか、ということが一つ聞かれます。今までの伸び率から考えて1割増は妥当ですというように持っていくか、あるいは地域の高齢化と利用者層の変化であるとか、そういうことも加味した中で1割は妥当と判断しましたというふうに、まず目標値の設定が問われます。今度この14,000を上回った、あるいは残念ながら横ばいだった、という時に一番最初に立てた目標のところとこの1年間の中でどう違ったのかということも問われますので、その辺も検証しながらこの1年間進めていただかないと、来年ですね、評価書を書けないということになってしまいます。できれば1割増しを目標にするためにこういうことをするんだということですね、いわゆる利用促進策ですね、ここに書く必要はないんですけども、事務局の方でしっかり決めておいて、そういうものをやり続けたのだけど、あるいはやったからこうなんだということをお知らせできるように整理をしておいていただきたいなと思います。以上です。</p>
<p>議長 事務局</p>	<p>では、ただいまのご指摘について、事務局の方でお願いします。</p> <p>やはり、旧補助金と同じように後日評価をしないといけな</p>

<p>議 長 事 務 局</p>	<p>いということで、その辺りも踏まえまして十分に対応を取っていきたいと考えております。</p> <p>1割増しの目標ということでどうですか。いけそうですか。</p> <p>小見川循環バスの普及啓発のところでも述べましたけども、こういった努力もしながら、目標を達成して参りたいと考えております。</p>
<p>議 長</p>	<p>ただ今、岩崎専門官からご指摘いただいたとおり、目標値の妥当性とそれから実際の実績がどうだったかということと、それに向けての利用促進策どうしたかということは必ず問われますので、しっかりと対応をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、他にこの計画策定につきましてご質問などいかがでしょうか。ご指摘、コメントなどございましたら・・・。</p> <p>よろしいでしょうか。ないようでしたらこの計画をこの協議会としまして承認をして、国土交通大臣あてに申請を行って手続きに入っていくということでよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。ではこの計画がこの協議会で承認されたということで扱わせていただきます。</p> <p>(4)市内公共交通のあり方に関する検討について</p> <p>続きましては、議事の最後ですけども(4)公共交通のあり方に関する検討に入っていきたいと思っております。この後、今後24年度以降この公共交通について、今まで色々やってきたのをさらに利用促進を深めていくのと同時に、さらに幅広い検討が必要なのかなということでの説明をさせていただきます。この事務局の説明が終わりましたら、もしよろしければ皆さま方からこの公共交通のあり方について、幅広くどのような点でも結構ですので、ご意見やあるいは思っておられることなど言っていただければと思います。</p> <p>それではまず、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
<p>事 務 局 議 長</p>	<p>【市内公共交通のあり方に関する検討について説明】</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今事務局から、今後も引き続き交通体系全般のあり方については検討していく必要があるとのお話ございましたけども、この点に関しましていかがでしょうか。</p> <p>はい、お願いします。</p>
<p>松 川 委 員</p>	<p>佐原区の松川です。今まで交通体系のことで色々協議があったのですが、大体がほとんど補助金でこの事業が成り立っているというようなところで。これが今後将来的に香取市の人口が少しずつ増えているかという減っているし、子供の数も減っているし、状況は段々段々悪くなっているような状況になると思うのですね。先ほど1割増ぐらいは小見川の方で確保したいとのお話がありましたけども、はたして人</p>

<p>議 事 局</p>	<p>口が減っていくような、子供が減っていくような、年寄りが減っていくようななかで、そのように確保できるか疑問なんですけども。そういったことも含めて他の地域でもやっぱり同じような状況だと思うのですね、交通体系については。やっぱり人口は減っているし、路線バスは減ってくるし、何とかそれを確保しないとうまくいかないというのは、お年寄りだけが抱えている問題ではないと思うので。他の地域でも他にどんな良い案があるのかちょっと探ってみるのも必要なのではないかと思うのですね。日本のどこかの地域で、こんなような交通網を作り出しているとか、というようなことも今後研究の対象にしていただきたいと思います。以上です。</p>
<p>議 事 局</p>	<p>ありがとうございます。それについていかがでしょうか。</p> <p>企画政策課長の林と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>確かに松川さんがおっしゃったように、人口が減っていったん状況が悪くなっていくことも予想されております。今、公共交通は、交通弱者が増えていく状況の中で、市がどこまでできるのかということも含めて色々検討していかないとダメなのだろうと。すべてが完ぺきにできる訳ではないであろうということは思っておりますので、どこまでできるのかということを含めながら、今できることを考えていきたい、というところでこのあり方に関する検討を始めていきたいと考えているところでございます。</p>
<p>議 事 局</p>	<p>今、松川さんがおっしゃったとおりですね、今、この香取の地域、人口が減っていますし、おっしゃるとおり子供の数も減っていて、これから公共交通の確保をどうするのか、もう少し勉強しないといけないのかなと思います。他の地域でうまく取り組みがないのかなというの、もう少しきっちり見ていく必要があるのかなと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。お気づきの点やこの際せっかくの機会ですのでございましたら。</p>
<p>岩崎副会長</p>	<p>はい。今後の方針の中でアンダーラインで、交通体系全般のあり方ということなので、「連携計画で計画したものがしっかりできたかどうかということ、連携計画の総評価」が必要であろうと思います。ここでまず考える前に、3年、4年前に考えたところがこの資料の4ページに書いてある。どのようなことをやろうとしていたのか、それが本当にできたのかということを考えておかないと、次に何かやろうとしたときにここ何もやっていなかったというようなことになるかも知れませんので、まずそこの評価・反省が必要なかなと思います。それから2点目ですが、交通体系全般というところまでやるのだろうかという大きな青写真を最初にお示しをして、全部の路線本当にやるのだろうか、ということもまず示した方がよろしいのかなと。事務局さんの案で結構かと思いますが。示していただきながら、その中で全般ということになると、今、市内の中を走っている公共交通というところ</p>

<p>議 長</p> <p>菅 谷 委 員</p>	<p>ずバス、他に輸送体系として福祉であるとか、スクールバスであるとかあるかもしれませんが、人の移動に携わる輸送体系というのがどのくらいあって、それをどういう風に整理していくのかということも全体をやるなら考える必要があるのかなと思います。それから全体を考えるのに、この協議会の中で、この協議会が年1回2回と数少ない中で事務局さんが提案していくのか、あるいはワーキンググループであるとか市民参加をしていただいた中で、もっと細かく検討していくのか、という検討の組織というものをどうしていくのか、ということもザクッとまず考えていただいて、その中で先ほど松川委員が言われたように、検討していく中で地域のことについて勉強会をみんなの中で地域の中でこういうことをやっているんだということ、必要であれば地域のことをよく知っている方ですとか来ていただいて、勉強会をしていくとかということも必要だと思います。あるいは、関東運輸局の方で地域公共交通マイスターというのを任命しておりまして、これは各地域の中でそれぞれ成功された方なのですが、そういう方々をこの協議会に呼んでですね、同じような地域のマイスター、マイスターといっても色々なマイスターがおるんですけども、そういう方々を呼んで、こういう風に計画を立てて進めていくとよいというようなアドバイスを得る。マイスターというのは偉い人たちではなくて、自治体の普通の職員さんです。係員さんですとか係長さんだったりとかします。あるいはバス事業者の社長さんだったりタクシー会社の社長さんだったりということもございます。この地域でいえば銚子電鉄の元社員だった方ですとかね。そういう身近な方がいらっしゃるから、そういった方々のお話を聞いて勉強するとか、もっと必要なら交通を専門にやっている学識経験者の方の話を聞いてみるとか、色々な勉強会をしながらやっていくということが必要なのかなと思います。そうしますとスケジューリングが必要で、どういう段階でやっていこうかたとえば目標1年後というなら1年後に向けてこういうスケジューリングの中でやっていこうということが必要なのかなと思います。その前に、先ほど言ったような乗降調査・インタビュー調査の結果も出ていませんし、それから先ほどの小見川循環バスの地域の方の発案で、非常に良い取り組みですねといったバスツアーの発表、それにこの地域で頑張っている方々の取り組みをこれからどうするのか、といった非常に近い経過も盛り込みながらやっていくことがいいのかなと。他市町村の動きもみるとそんな感じがしました。ちょっといっぱい言ってしまいましたけども整理をしていただいて、具体案をなるべく早い時期に協議会の方でお示しいただければわかりやすいかなと思っております。以上です。</p> <p>ありがとうございます。おそらく公共交通のあり方を検討するというのは非常に幅広いことをやらないといけないし、非常に色々なことをきちんと体制を組んでやっていかないといけないのかなという感じがします。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>高齢者クラブの菅谷です。なかなか利用率が上がらないと</p>
---------------------------	--

	<p>ということですが、私も素人ですのでよくわかりませんが、需要はあって経費などの面で対応できていないのか、対応はできておってもニーズがないのか、その辺りがちょっとわからないのですが、とにかく利用率が上がらない。恒常にきちっと対応できれば需要があるというのは、子供たち、特に高校生の通学だと思うのですね。そういう方面をきちっと対応できればある程度需要があるのではないかと考えております。まあ、高齢者の立場で申しますと、高齢者のクラブ活動をしておりますが、高齢化してきて足の確保は大変なことでして、クラブ活動ではクラブの中で足の確保はしておりますからそれは何とかありますが、高齢者の方が日常やはりバスを利用するという時に1人では大変だと聞く。体系そのものを抜本的にある程度考えていかないと、なかなかこの問題は効率的には解決がなかなか難しいと考えております。経費との兼ね合いがありまして行政としてどこまでカバーしていくかというのは悩ましい問題であろうと考えておりますが、経費をなるべく節減を目指しながら需要に対応するしかない。そういうことは私素人なのでわかりませんが、車の大きさですとか・・・。とりとめないですが以上です。よろしく願います。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございます。経費の関連も見ながら抜本的にということで、身の引き締まる思いでございます。本当にそうしないといけないと思います。他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、本日の議事次第にはありませんけども、その他何か事務局の方からございますでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>はい。本日お配りした資料で、「計画事業に係る事後評価記載様式（最終年度）」というものが1つございます。これについてご説明させていただきます。</p> <p>これは昨年度、3月まで運行しておりました実証・実験運行につきまして、国の補助金を受けて運行してきたわけですが、前回の協議会でご審議いただきまして、その最終年度ということで事後評価を提出しましたが、国交省で2次評価ということでコメントをつけてこちらに返送されてきたものを皆様にご案内するものでございます。基本的には自己評価の通りといった内容で2次評価が来ているのですけれども、1枚目の「I 総合評価」の下のところをご覧くださいますと、循環バス車体広告有料掲載が非常に高く評価できると特に記載してございまして、皆様にご報告させていただきます。約2年半にわたりまして旧補助金を受けまして運行してきましたが、こういった形で最終的にまとまったということでご報告するものです。</p> <p>説明は以上ですが、本日説明させていただきました内容につきまして、何かお気づきの点ですとか、ご提案等がございましたら、本日FAXなどでお送りいただけるように用紙を配布させていただいております。こちらに何かございましたら事務局へ送付いただければと思います。以上でございます。</p>

議 長	<p>ありがとうございました。 それでは、以上で議事は終了いたしました。これを持ちまして議長の仕事をお引きいただきます。皆さま方にご協力いただきましたこと、感謝申し上げます。どうもありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p>
--------	---

会議の名称 第10回香取市地域公共交通協議会
開催日 平成24年6月19日(火)

出 欠 席 者 名 簿

委 員 氏 名		出欠
会長	八木 貴弘	出席
副会長	岩崎 英一	出席
委員	伊藤 昌央	欠席
委員	古橋 守雄	出席
委員	小川 幹人	出席
委員	花崎 幸一	出席
委員	高橋 實	欠席
委員	藤田 信一	出席
委員	鵜澤 尚夫	出席
委員	橋本 定廣	出席
委員	渡辺 道彦	出席
委員	中田 太治	欠席
委員	田谷 志郎	欠席
委員	菅井 國郎	出席

委 員 氏 名		出欠
委員	菅谷 長藏	出席
委員	松川 忠史	出席
委員	八角 和爾	欠席
委員	林 浩美	出席
委員	本宮 敏雄	出席
関係職員	寺島 雄一	出席
関係職員	瀬宮 洋嘉	出席
関係職員	土戸 貞美	出席
関係職員	石田 清隆	出席
関係職員	大堀 常昭	出席
関係職員	高岡 茂	出席
関係職員	高木 秀雄	出席
関係職員	石毛 義則	出席
関係職員	澁谷 武男	出席

出席 23人 ・ 欠席 5人

香取市地域公共交通協議会 委員名簿

(平成24年6月19日現在)

No.	役割	氏名	所属団体及び役職名
1	会長	八木 貴弘	香取市副市長
2	副会長	岩崎 英一	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官
3	委員	伊藤 昌央	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長
4	委員	古橋 守雄	千葉県香取土木事務所 所長
5	委員	小川 幹人	香取警察署 交通課長
6	委員	花崎 幸一	社団法人千葉県バス協会 専務理事
7	委員	高橋 實	北総自動車株式会社 代表取締役
8	委員	藤田 信一	株式会社千葉交タクシー 常務取締役
9	委員	鶴澤 尚夫	千葉交通株式会社 常務取締役
10	委員	橋本 定廣	関鉄観光バス株式会社 専務取締役
11	委員	渡辺 道彦	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長
12	委員	中田 太治	福田線バス路線をまもる会 会長
13	委員	田谷 志郎	東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅 駅長
14	委員	菅井 國郎	香取市社会福祉協議会 事務局長
15	委員	菅谷 長藏	香取市高齢者クラブ連合会 会長
16	委員	松川 忠史	市民（佐原区）
17	委員	八角 和爾	市民（小見川区）
18	委員	林 浩美	市民（山田区）
19	委員	本宮 敏雄	市民（栗源区）
1	関係職員	寺島 雄一	総務部長
2	関係職員	瀬宮 洋嘉	企画財政部長
3	関係職員	土戸 貞美	市民福祉部長
4	関係職員	石田 清隆	経済環境部長
5	関係職員	大堀 常昭	建設部長
6	関係職員	高岡 茂	教育部長
7	関係職員	高木 秀雄	小見川支所長
8	関係職員	石毛 義則	山田支所長
9	関係職員	澁谷 武男	栗源支所長
1	事務局	林 高志	企画財政部企画政策課長
2	事務局	宇井 正志	企画財政部企画政策課企画調整班 班長
3	事務局	石毛 貴光	企画財政部企画政策課企画調整班 主査
4	事務局	菅谷 和之	企画財政部企画政策課企画調整班 主査